

「手話言語の国際デー2023」の取り組み

兵庫県×兵庫県聴覚障害者協会

一般財団法人全日本ろうあ連盟は、SDGs の理念である「誰一人取り残さない」共生社会の実現のために、「手話言語の国際デー」をはじめ、「国際ろう者週間」とおして政府や行政、県民に向けてアピールに取り組んでいます。

兵庫県内も真実の共生社会を目指して「手話言語の国際デー」「国際ろう者週間」から県民に広く普及させましょう。

手話言語の国際デー(International Day of Sign Languages)

毎年、9月23日は「手話言語の国際デー」です。2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。

また、9月23日は1951年に世界ろう連盟(WFD)が設立された日です。

連盟としても今後、国際デーを記念するイベントを開催していくとともに全国各地でも「手話言語の国際デー」の記念イベントが増えていく事を期待しています。

国際ろう者週間(International Week of Deaf People)

「国際ろう者週間」は、WFDの主導の下、1958年9月にイタリアのローマで始まりました。WFDの最初の世界会議が開催された月を記念して、9月の最後の1週間を「国際ろう者週間」としました。毎年、世界中のろう者の家族、手話言語通訳者、仲間達などを含む、ろうコミュニティによるさまざまな活動が行われ、各国の政府や行政をはじめ市民に向けたアピールに取り組むとともに、さまざまな関係者が関わっていく事を歓迎しています。

なお、国際ろう者週間は、1週間毎日異なるテーマが定められています。

持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」は、「誰一人取り残さない」という理念を掲げており、17の目標(ゴール)には障害または障害のある人に直接言及しているものもあります。しかし、障害分野のSDGsの取り組みはまだまだ関心が低く、障害のある人が社会に適応し、自らの障害を克服すべきものとする「医学モデル」の考えが、私たちも含め多くの人々の間で、社会構造にまだ根強く残っています。私たちは「誰一人取り残さない」「私たち抜きに私たちのことを決めないで」を理念とする真の共生社会を実現するために、自ら先頭を切って社会を変革してまいります。

▶年度別テーマ、取り組み内容

2018年度 With Sign Language, Everyone is Included! 「手話言語はみんなと共に生きる！」

東京のGoogleビル内でアジア地域ろうあ会議主催によるイベント開催

外務省大臣、アジア各国の大使館等来席

各都道府県聴覚障害者団体は各地域でオンラインによる集団視聴

2019年度 Sign Language Rights for All! 「すべての人に手話言語の権利を！」

国連ジュネーブ事務所前で連盟パラレルレポート担当理事によるメッセージ(動画発信)

2020年度 Sign Languages are for Everyone! 「手話言語は皆のために！」

全日本ろうあ連盟理事のリレーメッセージによる動画発信（コロナ感染拡大のためイベント開催できず）

2021年度 We Sign for Human Rights 「私たちが手話をするのは人権である」

WFDオンラインイベント、記念イベントを発信

岡山放送がニュースで手話言語×SDGs活動を紹介

鳥取県と東京都で手話言語×SDGs活動を実施

2022年度 Sign Languages Unite Us! 「手話言語で団結しよう！」

WFD(世界ろう連盟)は、全ての公共の場、公共のランドマークや公式の建物等をブルーライト(青い光)で照らす「手話言語のためのブルーライト」イベントを立ち上げました。

全日本ろうあ連盟も「世界そして日本を青色に！～いのちの輝き 手話言語に光を～」チャレンジプロジェクトを行いました。この結果、39都道府県/147の自治体でブルーライトアップされました。

「手話を広める知事の会」会長の挨拶、全日本ろうあ連盟 石野理事長の挨拶の動画発信

岡山放送が「手話言語の国際デーSP」番組を放送



兵庫県では 25 区市町・3 社/35 か所でブルーライトアップを行うとともに、手話言語の啓発イベント、展示、手話教室等を開催しました。

※参考資料:2022 手話言語の国際デーブルーライトアップビラ(会場紹介)、ろうあ兵庫1月号(写真)

▶2023年度の取り組み

引き続き、ブルーライトアップを行うとともに、手話言語の啓発イベント、展示、手話教室等で県民に広く発信できるように、拡大していきましょう！

<実施日:2023年9月23日(土・祝) >

◎ブルーライトアップ

2022年度よりも多く青い光で照らしましょう 「県下全市町と共に 兵庫県全地域に 青色を！」

2023年9月23日(土・祝) 日没後～ ライトアップ色:青色(#007EC4、もしくはこの色に近いもの)

※2022年度は、9月23日を含めて1週間ライトアップすることで広く呼びかけたり、ライトアップする会場がなく、手作りでライトアップを設営した市町がありました

◎メディアによる発信

自治体ホームページや広報、ケーブルテレビで県民に広く広めよう

ライトアップされた写真や動画をソーシャルメディアに公開しよう！

県知事、市町長の手話言語によるメッセージを発信しよう！

※2022年度は、ホームページや広報、ケーブルテレビで手話言語の国際デーの紹介、ブルーライトアップの

様子などを紹介する市町がありました

◎屋外イベント、もしくは屋内でイベント開催

多くの県民が行き交うところで開催し、手話言語やブルーライトアップ等を紹介する

- ・手話教室や交流コーナー(ミニ体験、手話言語で交流)
- ・絵本読み聞かせ(子どもたちと一緒に楽しめる)
- ・スタンプラリー(それぞれのチェックポイントで手話言語を学べるように設定)

※2022年度は手話教室や絵本読み聞かせを実施した市町がありました

◎展示

役場や図書館、ブルーライトアップ会場付近等で手話言語のことやブルーライトアップを紹介するコーナーを設ける

・展示内容

手話言語のこと

手話言語国際デー、ブルーライトアップのこと

簡単な手話表現(おはようございます、こんにちは、こんばんは、ありがとう、等)

デフリンピックのこと

- ・手話言語に関する書籍コーナーを設ける(図書館)

※2022年度は役場の前や図書館で手作りポスターの貼り付け、書籍コーナーを設けた市町がありました